

花物語通信

NO.48

3月のトピックス

- ★卒園・卒業式、送別のご案内
- ★春の花入荷のご案内
- ★春のお彼岸
- ★2月ハーバリウム講座を終えて
- 連載「暮らし彩時記」
- スタッフ便り

2018年 3月号



とからだを癒しにお立ち寄りください。

窓辺に射し込む柔らかな陽射しに、
少しづつ春を感じるこの頃、
皆様お変わりございませんか。

今冬は、寒さ厳しい日々が続きました。諏訪湖では、5季ぶりの御神渡り
が出現しました。いかに極寒だったかが
うかがえます。その厳しさを乗り越えた
からこそ、春の到来がよりありがたく思
えますね。道端では太陽の光を浴びてオ
オイヌノフグリの小さな青い花が春が来
たととささやいています。どうぞ、こころ
に包まれています。店内も
春色の花が所狭しと並び、柔らかな香り

卒園・卒業式、送別のご案内

3月は旅立ちの季節です。幼稚園、保育園の卒園
から始まり、卒業式は一生に幾度も経験します。お
子様やお孫様の晴れやかな門出のお祝いに、おめで
たうのことばと一緒に花を贈ってはいかがですか。
また、送別や退職のお祝いにもこれまでの感謝やね
ぎらいの気持ちを込めて花を贈る方が多いです。ど
んな花を贈ったらいいかしらと迷う時は、男性向け
にはオレンジ、イエロー系のビタミンカラー。女性
向けには可愛いピンク系が人気です。先様の好きな
カラーをさりげなく選べば、より思いが伝わります
ね。期間中、大変混み合いますので、お早めのご予
約をおすすめいたします。

春の花入荷のご案内

店内が一段と明るくなるこの時季、続々と春の花
が入荷しています。見ているだけでワクワクします
ね。お部屋にほんの少し飾るだけでも雰囲気華や
いだものになります。

中でもおすすめなのが桜です。お花見を楽しむの
はまだ先のことですが、ひと足早くお部屋で桜を愛
でるのもいいですね。花屋の店先には、年が明けて
すぐに出回る『啓翁桜』から始まり、桃によく似た『ロ
トウ桜』、ピンクが強く比較的花の大きな『オカメ桜』、
『彼岸桜』に『吉野桜』：等々、実に多くの桜が入荷
し、華やいだ明るい気持ちを誘います。枝物はアレ
ンジがむずかしいと思われがちですが、同じピンク
色のバラやランキユラスと合わせれば可愛らしい
感じに、紫のスイトピーやチューリップと合わせれ
ば大人っぽい雰囲気、最近よく目にする大輪のダ

リアなどと合わせればモダンなイメージに：
と、組み合わせる花によって桜のイメージも
変わり、花束として贈り物にお使いになれば、
きつと贈られた方の笑顔を誘
う事でしょう。

また、ぶつくりと可愛い多
肉植物もまだまだ人気があり
ます。水やりの手間があまりいらないので、
初心者さんにも育てやすいです。1種類だけ
で植えても充分楽しめる多肉植物ですが、色
とりどり組み合わせ「寄せ植え」するのも
また可愛く、お部屋を優しい空気で満たして
くれますよ。



春のお彼岸

暑さ寒さも彼岸までと言われますが、3月
18日〜24日は、春のお彼岸です。



先祖をうやまい、亡き人を追憶するお彼岸。お
墓参りやお仏壇にお供えするお花は菊が多いイ
メージですね。そういえば「国の花」で知られる
この「菊」、海外では「マム」と呼び名が変わり、
とても長持ちする花の代表格として世界で親しま
れているのをご存じでしょうか。農林水産省
1月26日付のホームページによれば、青いカーネー
ション・青いバラに続き、『青い菊』
も開発されたそう。販売に至るまでに
はもう少し時間を要するようですが、
一度は目にしてみたいものです。

さて、菊：から話がそれてしまいましたが、お
彼岸には春の明るい花や、故人が好きだったお花
をお供えすると、より気持ちが伝わることでしょ
う。和洋花各種取り揃えてお待ちしております。



2月ハーバリウム講座を終えて

2月22日、24日に開催いたしました好評のハーバリウム講座にご参加いただきありがとうございました。今



回はピンク色をメインに用い、お部屋の中に春を呼び込むインテリアとして見る人を優しい気持ちにさせてくれる作品に皆さん仕上がりました。色合いや詰め方と共に個性が出て、それぞれの美しさがありました。毎回スタッフとして一緒に参加し、皆さんの作品を拝見することが楽しみでもあります。季節ごとのいろいろなバリエーションのハーバリウムを飾るのも素敵ですね。今後も、ご好評にお応えすべく定期的に講座を開催させていただきます。どうぞ、次回もお楽しみに。



連載

暮らし彩時記

No.2

3月「弥生の章」

6日「啓蟄」土の中で冬ごもりをしていた生き物たちが目覚める頃です。

21日「春分」いよいよ暖かくなり昼と夜の長さが同じになる頃、お彼岸の中日です。お供え物で浮かぶのは、春はぼた餅ですね。同じものでも秋はおはぎとその時季の花にちなんだ名前を用いるとは、洒落ていて日本らしい風情がありますね。そして、夏は夜船、冬は北窓と一年を通して呼び方が変わるそうです。

3月14日は、ホワイトデーです。

以前は、2月14日のバレンタインデーのお返しに男性が女性にキャンディやマシュマロを贈る日でしたが、昨今ではお友達や家族へのお返しも行われるなど多様化しています。ホワイトデーのお返しは、お菓子が主流ですが、合わせて花を贈られる方も多いです。春色に包まれた可愛いブルーやエレガントなスタイルの花束に、そっとお礼の気持ちを託してはいかがですか。(記 吉田智子)

スタッフ便り

皆さま、いつも当店をご利用いただきありがとうございます。倉田でございます。

たそうです。

また、赤い花…というともまず思い浮かぶのは『バラ』ではないでしょうか。私も『バラ』は大好きな花の一つです。特に「サムライ」という名の赤いバラを初めて目にしたとき、その凛とした花姿の美しさに魅了されたことを今でも覚えています。

還暦の色…といえばご存じの通り『赤』ですね。この『赤』色には魔除け・厄除けの力があると言われていますが、古代の日本人は生命の色としても尊んでい



今年はそんな花たちのパワーを受け、私の大好きな犬にちなんで健康(犬幸)で、皆様のご来店をお待ちしたいと思います。(コンシェルジュ 倉田隆子)

編集後記

日本選手の活躍で盛り上がった平昌冬季オリンピックが閉幕しました。中でも長野県出身の小平奈緒選手や渡部暁斗選手のメダル獲得は感動しましたね。そしてこの2月に長野冬季オリンピック開催からちょうど20年を迎えました。月日の流れは本当に早いものです。その長野オリンピック開催を記念し、2004年から始まったお祭りが、毎年2月に開かれる「長野燈明まつり」、今年第15回を迎えました。平和の象徴である善光寺を5色でライトアップする「ゆめ常夜灯」。私も毎年訪れますが、冬の凛とした寒さの中に浮かび上がる本堂は、荘厳で幻想的な印象でした。表参道には、たくさんおのきり絵の「ゆめ灯り絵」が整然と並び、この灯りを通じて世界平和を願うという祭りのメッセージが感じられました。平穩無事に毎日をお過ごしすることは、当たり前なことではなく、本当にありがたいことです。季節の変わり目、どうぞご自愛くださいませ。(吉)